

第16期定期総会

BIMの動向調査 活動報告

特定非営利活動法人 設備システム研究会
WG3

活動テーマ

建設業界は人手不足や働き方改革などにより、業務の効率化が求められており、BIMはこれらに対する有効な手段として位置づけられている。今年度も引き続き、BIMの動向を調査する。具体的なテーマは、

- ① **BIM 問題点の抽出と解決につながる情報の発信**
 - ② **BIMのデータベースに関する情報共有**
 - ③ **BIMガイドラインについての勉強会**
- とする。

WGメンバー

法人名	氏名	法人名	氏名
(株)朝日工業社	平泉尚	ダイキン工業(株)	柴田賢成
(株)NYKシステムズ	山崎慎太郎	大成設備(株)	彦根裕
(株)エリジオン	渡辺友彦	大成設備(株)	小池芳法
(株)カンキョウエンジニアリング	鈴木信也	(株)TAK-QS	森川 豪介
(株)カンキョウエンジニアリング	福田全志	(株)テクノ菱和	網倉麻古
(株)九電工	安武和成	デュアル・アイ・ティー (株)	岩渕竜一
(株)コマダ工業システムKMD	青山和幸	東洋熱工業(株)	中島貴司
(株)コンプケア	小林広明	東洋熱工業(株)	小野木淳子
三機工業(株)	古川賢一	(株)日立プラントサービス	橋口孝
三建設備工業(株)	寺岡慎治	(株)ファーストスキル	吉澤正秋
(株)三晃空調	畠田博之	(株)百音設計	浜口正和
須賀工業(株)	向来信	(株)四電工	濱田智祥
須賀工業(株)	斎藤浩	和田特機(株)	横井義光

活動実績

日付	種別	活動内容	参加人数
2022年5月27日	WG活動	成果発表確認,22年度活動計画	6名
2022年9月9日	WG活動	各団体が公開しているガイドライン、資料についての意見交換	6名
2023年1月20日	WG活動	国交省出前講座の申し込みについて	8名

活動内容報告

① BIM 問題点の抽出と解決につながる情報の発信

- BIMお悩み相談

② BIMのデータベースに関する情報共有

- データベース化についての意見交換を実施した。

③ BIMガイドラインについての勉強会

- 各団体のガイドライン、公開資料についての意見交換
- 国交省の出前講座申し込みの意見交換を行った

① BIM 問題点の抽出と解決につながる情報の発信

BIMお悩み相談①

- お悩み

- パソコンが入手しづらい状況であるが、現場で急にパソコンが必要になることもある。BIMに必要なパソコンのスペックについて、各社の取り組みや情報提供を頂きたい。

- 各社意見

- 古くなったPCが、半年ごとに入れ替わる。CAD用のPCはそれなりのスペック（メモリ、グラボなど）としている
- ソフトにより、グラボ・CPUの依存度が異なるが、CPUの方が重要である。

BIMお悩み相談②

- お悩み

- 最近よく聞く「CDE」について、教えてほしい。

- 各社意見

- BIMモデル・プロジェクトデータの連携、アクセス権限の管理、バージョンチェック・管理、調整情報の効率的な生成などを担うツール

- クラウド上のモデルから、データの抜き差しが可能

②BIMのデータベースに関する情報共有

②BIMのデータベースに関する情報共有

5月27日のWG活動意見交換より

- BIMをデータベースとして扱うとしても、フロントエンドが必要。それには、Tfas、Rebro、CADEWA等の施工図CADになる。
- みんなが、オープンなBIMデータにアクセスできる環境（CDE）を整えるなどがあるが、現実難しく、Revitに集約することになるだろう
- データベースとしてのRevitとのデータ交換（rvt）の読み書きができるようにするのが流れになっている

③BIMガイドラインについての勉強会

③BIMガイドラインについての勉強会

9月9日のWG活動意見交換より

- 各団体のガイドライン、公開資料についての意見交換
 - 契約前に、専門工事業者がどこまで動けるのか
 - 設計BIMとゼネコンが進めるBIMが別の流れになっている
 - 見積もり前に出してほしい、EIR（Employer Information Requirementsの略で「発注者情報要件」）などが出てこないで、後出しされ、困る。
 - LOD（Level of Development）の部分があいまいなままだと、BIM・施工図作成にどのくらいの工数がかかるか分からない。

③BIMガイドラインについての勉強会

1月20日のWG活動意見交換より

- 国交省の出前講座申し込みの意見交換
 - 「官庁営繕事業におけるBIMの取り組み」を依頼できる
 - 共通認識を高める為、発信元の国交省が講座をやってくれるのはありがたい。世の中の動きの大本の話からしてもらえると良い。
 - BIMを進めるのに、発注者が求めているという話があると、社内での展開もやりやすい。

2022年度成果 まとめ

2022年度成果 まとめ

【計画】

建設業界は人手不足や働き方改革などにより、業務の効率化が求められており、BIMはこれらに対する有効な手段として位置づけられている。今年度も引き続き、BIMの動向を調査する。具体的なテーマは、

- ① BIM 問題点の抽出と解決につながる情報の発信
- ② BIMのデータベースに関する情報共有
- ③ BIMガイドラインについての勉強会とする。

【結果】

①3回のWEB会議を開催し、「お悩み相談」などで問題の討議を行った。②データベース化についての意見交換を実施した。③各団体のガイドライン、公開資料についての意見交換、国交省の出前講座申し込みの意見交換を行った。

2023年度の活動案

- 国交省の出前講座を実施
- 「主要BIM・CADアンケート調査」を実施
→毎年やってはという意見が届いていた
- 施工図CAD+アルファという形で、BIMのメリットを整理
 - BIMのメリットがあまりにもトップダウン視点で説明しすぎる
 - 施工図を作成する上で、施工図CADよりBIMの方が、ちょっと良くなる部分に着目し、ボトムアップ視点で説明
- BIMの事例紹介
 - 実際、現場でBIMを使って楽になった・上手くいったことを紹介
 - 逆に、BIMで失敗してしまった事の情報共有など

2023年度計画（案）

建設業界は人手不足や働き方改革などにより、業務の効率化が求められており、BIMはこれらに対する有効な手段として位置づけられている。今年度も引き続き、BIMの動向を調査する。具体的なテーマは、

- ① BIM の普及につながる情報の発信
- ② BIMに関するアンケート調査
- ③ 外部講師によるBIMの勉強会開催とする。